

【図1. 長生炭鉱平面図】 「刻む会」内岡作図

- ①九州日商興業(株) 坑口調査結果報告 (2016. 12. 4)
- ②井上正人さんからの聞き取り (宇部高校、宇部西高校、香川高校の生徒さん 1994. 10)
- ③長生炭鉱元労働者、チユスンドクさん (1942年頃の長生炭鉱坑内外作図 2006. 4)
- ④長生炭鉱元労働者、クオンヨンギルさん (1942年頃の長生炭鉱坑外作図 2013. 6)
- ⑤宇部市郷土資料館 (1948年度企業用貸付資金調査表)
- ⑥事故当時西岐波小5年のチョンソッコさんの記憶 (2015. 3)

『日本の長生炭鉱水没事故に関する真相調査』 報告書(日本語版)

大韓民国 対日抗争期強制動員被害調査及国外強制動員犠牲者等支援委員会 編



待望の出版！

当会では、カンパ1000円以上の
方でご希望があれば差し上げてい
ます。詳しくは、事務局までお問い
合わせください。

この度の日本語版刊行、「刻む会」にとって画期的な事と思います

キムピョンジン

金炳辰(「刻む会」会員/「日本の長生炭鉱水没事故に関する真相調査」翻訳者)

数年前の事です、当時の「刻む会」副代表・内岡貞雄氏からお話があり翻訳のお手伝いを致しました。たくさんある朝鮮人強制連行に関する論文の中から、「長生炭鉱水没事故に関する真相調査」という名の報告書が、翻訳出版候補に選ばれたということでしたので、これはまさに「刻む会」の明るい前途を示唆するものだと合点して、喜びを胸に翻訳作業にとりかかったことを思い出します。

実は私、この報告書を読むまではこの事故に関してほとんど無知でしたので、翻訳に参加したことで知識が増えたというか、すごく教えられるものがありました。まず、よくここまで調べたものだと多くの先達の熱意と業績に頭が下がるばかりでした。お元気でいらっしやった、尊敬する故山口武信先生から或る一日、貴重なお話を聞かせて頂いたのもこの時期です。

その後、1年経ち2年経っても日本語版発刊の話が伝わって来ないので、何らかの事情で立ち消えになったのだろうと諦めていたところ、昨年11月、内岡共同代表から「年内発刊」の知らせとともに、追加原稿(ご老人お二人の証言聞き取り)が送られて来ました。お二方とも、60年以上も昔のことははっきりと覚えておられ、話される言葉に飾りが無い分、余計真実味を感じさせられました。忘れようがない、頭の芯にこびり着いた記憶なのでしょう。付録として証言を載せることで本文が一層迫力あるものになるに違いないと、追加原稿を訳しながら期待を抱いたものです。

この度、韓国の研究者、調査員の方々の尽力により、よい本が刊行されてほんとに良かったと思います。お世辞ではなく、こんな事ができたのもひとえに日本の支援者の皆様のおかげだと言えます。一介の在日老人に過ぎない私ですが、日本の心ある皆様、特に「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の皆様、この機会に一言お礼を申し上げます。拙筆をとりました。

この本の発刊と言い、先日の74周年追悼集会と言い、「刻む会」にとって画期的な出来事でした。先が楽しみです。役員の方々は大変でしょうが今後も宜しくお導き下さい。



キムピョンジン

内岡共同代表(左) 故・山口顧問(中) 金炳辰さん(右)

74周年犠牲者追悼集会報告

—ご遺族の祈り、長生の海底深く—

今年1月30日(土)、74周年追悼集会が行われました。第一部の追悼式は、韓国遺族会15名のご遺族と、駐広島大韓民国総領事の徐張恩(ソザンウン)氏のお世話により韓国仏教宗団協議会から約50名の僧侶の皆様が参列を得て、盛大に執り行われました。「海底下の『遺骨収集』という重い課題を、日韓両国が協力しながら『共同事業』として成し遂げるためのご支援を皆さまにお願い申し上げます」という井上洋子共同代表の挨拶にあるように、私たち「刻む会」は74周年追悼集会をそのスタートにしたいと思えます。

ピーヤを臨む長生海岸で、「アボジー」、「ハラボジー」、「ヒョン！」と、心の底から叫ばれるご遺族の思いをしっかりと受け止め、これからの活動を進めて行きたいと思えます。

(共同代表 内岡貞雄)

第1部 追悼式

海岸にて献花する遺族達



チエサをする遺族



韓国仏教宗団協議会の僧侶たち

徐張恩
駐広島大韓民国総領事



金亨洙
韓国遺族会会長



井上洋子
「刻む会」共同代表

- ☆海岸にて献花
- ☆追悼式
 - 三鼎依文・般若心経
 - 黙とう
 - 遺族会会長挨拶
 - 「刻む会」代表挨拶
 - 追悼辞 I
 - 追悼辞 II
 - 祝願
 - 薦度齋
 - 発願文
 - 諸事お知らせ
 - 四弘誓願



薦度齋



第2部は内岡貞雄共同代表の開会挨拶に続き、韓国遺族会会長挨拶・遺族紹介をした後、殿平善彦さんの講演をお聞きました。会場からの積極的な質疑応答もあり、有意義な講演会となりました。

【来日遺族】

キムヒョン ス	ヤンヒュン
金亨洙	楊玄
ファンジョン スル	チョンソフ コ
黄鐘述	全錫虎
キムジョンソク	パククムスン
金鍾錫	朴今順
キムチンドン	ソントクネ
金宗道	宣徳禮
チェクムソク	チョンオッガ
崔金石	鄭玉花
ソンソクチョン	シンジェボン
孫石川	申載鳳
シンジュンミン	
ハンヨンジャ	イジョンスン
韓英子	李鍾順

金亨洙
遺族会会長



殿平善彦さん

講演要旨

命を届ける旅ー強制労働犠牲者遺骨奉還

強制労働者追悼・遺骨奉還委員会共同代表
一乗寺住職 殿平 善彦

戦時下に北海道で強制労働を強いられ、犠牲になった朝鮮半島出身者の遺骨を韓国に届ける遺骨奉還委員会は2015年9月11日に北海道内から旅を始めて、20日までの日程で韓国へ115体の遺骨奉還の旅に出た。

奉持された遺骨は日本人、アイヌ、韓国人、アメリカ人、オーストラリア人の総勢53人の奉持団の手で韓国まで届けられた。北海道各地に安置されていた遺骨を受け取り、犠牲者たちが連行されて来た北海道までの道のりを逆コースでたどりながら、北海道美唄市「常光寺」、「西本願寺札幌別院」、「東京築地本願寺」、京都「西本願寺阿弥陀堂」、広島「本願寺広島別院」、そして下関市「光明寺」で日本での最後の法要をすませ、関釜フェリーで釜山に向かった。

18日釜山での追悼会を経て、ソウル聖公会大聖堂でミサ、納骨堂への安置、翌日午前には焼骨をすませ、ソウル支庁前広場で午後7時から葬儀が営まれた。

葬儀には各宗派の皆さまをはじめ1000人もの方々が集まり、ソウル市長のあいさつもあり、また韓国の高校生はじめ多くの若者も参加してくれた。20日、ソウル市立墓地に無事納骨された。

私たちは政府や企業に代わって遺骨を届けたのではない。戦時下に強制連行され、強制労働のあげく死に至らしめられた朝鮮人の遺骨は本来、日本政府と使役した企業の責任によって謝罪と補償を伴いながら返還されるべきである。この遺骨奉還を契機に政府と企業

の責任ある遺骨問題への対応を求めたい。

韓国と日本は歴史的には被害と加害の関係にあるがその歴史を踏まえつつ両者が共同することによってしか過去の傷跡を埋めることはできない。私たちが発掘した遺骨は、たんなる遺骨でなく、日本帝国の戦争と植民地支配によって奪われた命であり、帰りを待ちわびた遺族に届かなかった死者そのものだ。死者よみがえれ、死者を忘却の彼方にやっってはならないのだ。

今回初めて韓国と日本の市民が共同で奉還委員会を結成した意義は大きい。全国各地で、韓国で多くの人々と出会い、死者への追悼と平和への思いをともにし、小さいが確かな和解の実りを経験した。この向うに東アジアの和解と平和がみえてくる。

今回日本と韓国で15回に及び葬式をしたが私は代表として心から謝罪の思いを述べた。強制連行強制労働の歴史を直視して、和解を実現し、生命を尊ぶ社会をどう作っていくのか、ご遺族が参加しているこの場がそうだと思う。

遺骨返還にあたり、ドイツ・ベルリンでは上映会や募金が行われ、オーストラリア・キャンベラでは、祈りも捧げられた。アメリカ人の人類学者デビット・ブラスさんは、遺骨奉還の旅に同行されて、アメリカの人々に見て頂くために奉還記録を続けた。「白い布に包まれた箱を運ぶ東アジアの人々の希望の白い手袋」の映像のように、この地上の人々が恒久平和にお互い向き合っていく社会の実現のために。

加害を行った者はきちっと謝罪を行わなければならない。この正義の実現のために可能な限り遺骨を調査し、返還し、韓国をはじめすべての人々と繋がっていかねばならないと思う。

強制連行真相究明ネットワーク

事務局長 中田光信



太平洋戦争中の1942年2月3日、山口県の宇部炭田（海底炭鉱）の東端に位置する長生炭鉱の坑内に海水が流入、坑道が水没し183人の炭鉱労働者が犠牲となる事故（水非常）が発生した。そのうち136人が朝鮮半島出身であった。長生炭鉱は、水没事故直前の1941年のピーク時には宇部炭田で第3位の生産量を誇るまで生産を拡大する。それは当時、長生炭鉱が別名「朝鮮炭鉱」と呼ばれた歴史からわかるように、1941年から1943年の3年間、労働員計画の合計数が1630名（雇入総数1258名）と他の炭鉱と比べて群を抜いて多くの労働者を朝鮮半島から強制連行・強制労働させ、低賃金・劣悪な労働条件のもとで酷使した結果である。

事故の原因は、生存者の証言や当時の資料から明らかのように「人災」であった。すでに事故発生約2ヶ月前には坑内出水があり、炭鉱側は出水事故を予見し警戒体制に入っていたにも関わらず現場には一切知らせなかった。また作業中に海上を通過する船舶のエンジン音が聞こえたという証言も残っている、海底ギリギリまで採炭していたのだ。それは明らかに当時の安全規定にも違反する操業であった。何時落盤（水没）事故が起こるかかわからないにも関わらず戦争遂行のための石炭増産を最優先させた結果である。しかし、宇部炭田内で発生した2番目の大規模事故にも関わらず事故発生を伝える短い新聞記事以降事故を伝える続報もなく、歴史の闇に葬られてしまった。

1982年、犠牲者を慰霊する「殉難者の碑」が建立されたがそこには「永遠に眠れ／安らかに眠れ／炭鉱の男たちよ」という文言だけが刻まれ、強制連行の歴史的事実には一切触れられなかった。強制連行の歴史を隠蔽する「殉難者の碑」に反対し歴史的事実を明らかにしようと市民が立ち上がり1991年、犠牲者全員の名前を刻んだ追悼碑の建立、ピーヤと呼ばれる海面に突き出して建つかつて排気・排水口であったコンクリートの円柱の保存、そして被害者・遺族の証言・資料の収集と編纂の3つの目標をかかげて「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」を発足させた。そして当時の「殉職産業人名簿」という殉職者名簿と現在も西光寺という地元の寺に保管されている犠牲者の位牌の名前を照合して、犠牲者の本籍の住所宛てに118通の「死者への手紙」を送ったところ、その年末までに17通の返事が返って来たのである。その手紙を受け取った遺族を中心に韓国では遺族会が結成され、1993年から毎年追悼集会と95年からはフィールドワークも開催している。そして、2013年2月、ついに市民の手で土地も確保し日本人・朝鮮人全員の犠牲者の名前を刻んだ追悼碑を建立した。

追悼碑前で行われた今年の「長生炭鉱水没事故74周年追悼式」には韓国仏教宗団協議会から約50名の僧侶が来日、遺族会からも孫の世代も含め総勢15名の遺族が参加して盛大に行われた。そして今、会の運動は74年間海底に放置されてきた遺骨を故郷へ帰す「遺骨返還」という次のステージへ向かう。安倍を筆頭とする歴史「改ざん」主義者が跋扈する今、足元から強制連行・強制労働の歴史を後世に伝える粘り強い市民運動の重要性はいよいよ高まっている。

活動日誌

（前回はより以降）

※太字：詳細は記事にて紹介

- 2015年
 - ▽12月4日(金) 坑口・坑道調査報告会
 - ▽12月9日(水) 『刻む会たよりNo.59』発送作業
 - 対する県庁要請行動
 - ▽12月10日(木) 第7回運営委員会
- 2016年
 - ▽1月7日(木) 第29回長生炭鉱水没事故問題解決協議会
 - ▽1月8日(金) 第8回運営委員会
 - ▽1月11日(月) 真相究明ネットワーク
 - ▽1月30日(土) 長生炭鉱水没事故74周年犠牲者追悼集会
 - 第1回事務局会議
 - ▽1月31日(日) 遺族との交流会
 - ▽2月4日(木) 第9回運営委員会
 - ▽2月10日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに
 - 対する県庁要請行動
 - ▽2月15日(月) 福岡県大川市福祉事務所FW受入
 - ▽2月19日(金) 第7回国際切手まつり
 - in 防府
 - パネル展示・「アボジは海の底」DVD上映
 - ▽2月20日(土) 総連女性同盟市民交流会
 - ▽2月22日(水) ピーヤ保存に関する協議
 - ▽2月27日(土) 故・山口武信一周忌法要
 - ▽3月5日(土) 6日(日) 第9回真相究明ネットワーク全国集会
 - ▽3月12日(土) 故・山口武信氏命日
 - 山口武信追悼文集発行
 - ▽3月15日(火) 第10回運営委員会
 - ▽3月16日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに
 - 対する県庁要請行動

感想

「『ピーヤ』とは？ 犠牲者の墓標だ」

◇はじめに

本年2月15日(月)、福岡県の大牟田市、久留米市、柳川市、大川市、みやま市、小郡市、うきは市、筑後市等々から13名の人權・同和担当の皆さんが長生炭鉱に見えました。和布刈PAから同乗して午後3時過ぎまで、現地を案内いたしました。参加者から感想文をいただきましたので、ご紹介します。

(文責 内岡)

○ 私はこれまで長生炭鉱のことを全く知りませんでした。今回のFWで「海底炭鉱」で労働していた方々のことや74年前に水没事故(炭鉱用語で「水非常」)が起こり、183名が犠牲になったこと、うち136名が朝鮮半島出身者であったこと、未だ海底下に遺骨が残され、その回収に向けて取組みを進められていることを説明いただき認識を深めることができました。

私が生まれ育ち、現在も暮らしている大牟田も炭鉱の町です。大牟田でも炭鉱についてはいろいろな問題がありました。長生炭鉱と同じような朝鮮人を強制連行し、厳しい環境の中で、過酷な労働をさせていました。大牟田も同様なのですが、長生炭鉱でのさまざまな人権侵害について、多くの

人に知ってもらう機会が必要である中、「刻む会」の皆さんの活動はすごいと思いました。※大牟田にも石炭記念館があるので、有料です。宇部は無料で展望台もあり、良いと思いました。

○ 戦時中1942年2月3日長生炭鉱水没事故で183名(朝鮮人136名、日本人47名)が犠牲になった事実を、朝鮮植民地支配の下朝鮮人が受けた人権侵害の一つとして取り上げ、今も海底に眠り続ける遺骨の収集に取り組まれている「刻む会」の内岡さんから説明を受けました。

大牟田炭鉱や長崎の軍艦島(端島炭坑)は地下数百メートルまで掘削し採掘しているが、長生炭鉱は地下20メートルから30メートルの浅海炭鉱での採掘であったため元来危険な海底炭鉱であったが、そのような中で起きた事故は安産管理も不十分で、「鉱山法」も遵守されないもので「人災」といわざるを得ないとのこと。

しかし、戦時中の事故であり、当時の報道も僅かで事故そのものが風化しつつある中、凪いだ海面に出現しているピーヤ(排気や排水のための筒)が「刻む会」の方々の運動を突き動かしているのだらうと感じました。FWでは位牌が安置される西光寺、追悼ひろば(3年前完成)、雑草や竹藪の炭鉱跡、長生海岸でピーヤを眺めながら未だ故郷に帰れない人々を偲ぶものでした。

“戦争が一番の人権侵害である”との指摘について、私はこれからどのように対処し

ていくべきか、課題を投げかけられたようでした。

○ まず聞きなれない「ピーヤ」とは何ぞや？から視察は始まった。ピーヤは海岸から50〜60メートルに1本、さらに200メートル沖にもう1本煙突のようなものが突っ立っている。これは海底坑道内の排気や排水を行うために造られた竖穴で、当時は長生炭鉱のシンボルであったという。しかし、現在は犠牲者の墓標となっていると聞いた。思うに、海面下30メートルを掘削するにおいて、この遠浅の海に30数メートルの竖穴を掘ることはコスト低減の極みではなかったのだろうか？

(以下、略)

山口武信追悼文集 ができました！



昨年3月12日にお亡くなりになった山口武信さんを偲ぶ『山口武信追悼文集』を発行しました。
この度、『刻む会』よりNo.60に同封いたしました。ぜひ一読ください。
山口武信さんとのエピソードなど原稿をお寄せ下さった方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

日本の宇部市にある長生炭鉱の水
非常を歴史に刻む会のみなさんへ

私たちは「富川・川崎のジュニア・フォーラムHAN A」の16期チエダヒエ、18期チヨンウォンギョンです。「HAN A」は富川・ブチョン市と川崎市の青少年たちが毎年2回定期交流会を通じて両国の歴史問題についてフォーラム・探訪を通じ、互いの考えを交換する国際交流サークルです。

私たちは、いままで歴史について勉強してきたのですが、韓国と日本が絡み合った歴史的事実については、まともには知っていませんでした。残念でした。

今回の「HAN A」の交流／川崎訪問(2015. 12. 23―28)を通じて、私たちは「朝鮮人強制労働」について深く知ることができ、より多くの人にも知ってほしいという気持ちになりました。

私たちに何ができるのか悩みました。そして、老若男女を問わず容易に理解できるように「漫画」を歴史的事実と結合させることにしました。短い時間で人々に歴史的事実を知らせて、関心を持てるようにするために様々な悩みを経て、ついに漫画を完成しました。より多くの人がただ見て通り過ぎるのではなく、一度でも歴史について深く考えてみるきっかけになったらと思います。

最後に発展的な未来のために「歴史的事実を知って、正しい歴史認識を持って」生きていてほしいです。

これから私たちの活動を見守ってください。

S



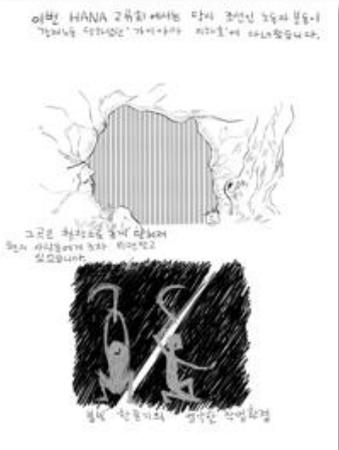
帰りたくても帰らなかった人たちが
いわゆる、このようなことを受けた人を、
強制徴用された、と言います。



強制労働とは何でしょうか。
引かれてきた人
自由意志を奪われた人



- 分かってください
- 文 18th ウォンギョン、16th ダヒエ
- 絵 16th ダヒエ



今回のHAN A交流会では、当時、朝鮮人労働者の方々が強制労働された、「貝山地下壕」に行っていました。そこは帳で固く閉ざされて現地の人々にさえそっぽを向かれていました。光一筋の劣悪な作業環境



つらい労働に比べて著しく少ない給料
彼らは全てここでハードな時間を送ったのです。



学生たちと朝鮮人
そして
食事もほとんどの日本人労働者とは別
のもてなし



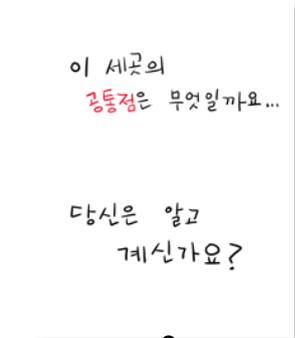
知らなかった事実を知ることが
うになった。



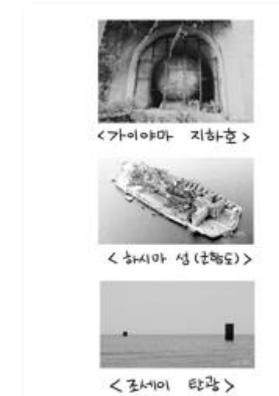
貝山地下壕 探訪後
歴史の真実を知らせなければならぬ。



そこでしばらくの間、フラッシュを消して真っ暗な闇の中でその方たちの心境と劣悪な作業環境を感じました。怖かったです。



この三カ所の共通点は何でしょうか。あなたは知っていますか？



貝山地下壕
ハシマ(軍艦島)
長生炭鉱



ただ怖かった。彼らはどのようにこんな所で仕事をしたかな。さまざまな意見が出されました。

解説と提言

<まえおき>

2016年2月初旬、韓国の友人から12枚の絵が届いた。その友人は富川市のゴリウル青少年文化の家クマ(以下クマの家) 職員のシン・ヨンシクさん。人間いきいき研究会とクマの家が2013年からすすめる「B I Y P 韓国富川(プチョン)青少年交流計画」の韓国側の窓口スタッフで、クマの家では中学生向けの放課後教室も担当している。彼は20年前に1年間日本国内でのボランティア計画を体験したOB。人間いきいき研究会は当時、そのボランティア計画を支援したことでつながりを持っている

<富川市と川崎市>

韓国ソウル近郊の富川市と言えば、神奈川県川崎市との「高校生による日韓交流団体/実行委員会型相互訪問交流ハナ(HANA)」をご存知の方も多いと思うが、シンさんはHANAの交流活動にも参加している

①私たち川崎・富川(プチョン)高校生フォーラム・ハナ(HANA)は、川崎市と川崎市の友好都市である韓国・富川市の高校生による日韓交流団体。年2回の交流を通してお互いの文化や歴史を理解し、一つになるという目標のもとで活動しています。2000年8月に第1回交流会を開催し、その後夏に川崎の高校生が富川を、冬に富川の高校生が川崎を訪問する形で交流が続いています。

この交流は川崎市教育委員会との共催事業として2014年で15年目を迎え、2010年には高円宮記念日韓交流基金から表彰される等の実績があります。川崎・富川高校生フォーラム・ハナ実行委員会には、川崎側の高校生及びサポーター(OB・OG、県立高校教員、川崎市職員等)が参加しています。

「黄色いリボン募金-韓国フェリー・セウォル号で犠牲になった高校生たちのために-」のHPから抜粋

②NHK ONE LINE 国際報道 2015. 5. 20 日韓交流が結んだ縁 「懸け橋」誓うカップル

<「刻む会」への提言>

人間いきいき研究会は、刻む会の活動を多くの方々に知って欲しいと願っている。「B I Y P 韓国富川(プチョン)青少年交流計画」で山口を訪れる韓国中学生は必ず宇部市床波の慰霊碑に案内することになっている。また、毎年防府市駅前で開催する手づくり国際交流&使用済み切手まつりには、刻む会の展示スペースも提供している。日韓、いや世界中の子どもたちが長生炭鉱水非常の歴史について、共に考える機会を提供しながら「次世代への関心の継承」をすすめたいと思っている。

人間いきいき研究会 世話人 森法房 (※賛助会員)

会計報告 (2015年11月27日～2016年3月11日)

【一般会計】

(円)

科目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入					
1 会費	350,000	63,000	348,000	99.4%	※1
2 寄付金	1,200,000	520,105	1,031,697	86.0%	※2
3 物販	120,000	30,070	50,670	42.2%	
証言・資料集	70,000	17,800	38,400	54.9%	
その他	50,000	12,270	12,270	24.5%	
4 雑収入	5,000	0	5,740	114.8%	
5 前期繰越金	460,199	0	460,199	100.0%	
6 特別会計より繰入	0	0	0		
合計	2,135,199	613,175	1,896,306	88.8%	
歳出					
1 事務費	50,000	11,208	46,190	92.4%	
2 広報費	250,000	49,606	213,873	85.5%	たより送料他
3 会議費	20,000	0	20,000	100.0%	
4 追悼碑管理費	10,000	3,094	5,906	59.1%	電気代、ペンキ
5 活動費	790,000	514,937	640,604	81.1%	
学習会等	90,000	0	18,667	20.7%	
追悼集会	500,000	480,571	486,727	97.3%	遺族滞在費他
その他活動	200,000	34,366	135,210	67.6%	派遣費、報告書送料他
6 他団体会費等	40,000	20,000	38,000	95.0%	映画「抗いの記」賛同金付替他
7 雑支出	20,000	15,476	17,834	89.2%	建立委員会委員長葬儀花代
8 予備費	50,000			0.0%	
小計	1,230,000	614,321	982,407	79.9%	
9 特別会計へ繰出	905,199	0	0	0.0%	
10 繰越金	0	-1,146	913,899		
合計	2,135,199	613,175	1,896,306	88.8%	

※1 新規正会員登録3名(個人2名・団体1名) / 累計82名(個人74名・団体8名)

新規賛助会員登録5名(個人5名・団体0名) / 累計183名(個人178名・団体5名)

前回報告との差違は会員籍移動による。

※2 寄付者(敬称略)

井上 洋子	猪股 誠司	今橋 宣子	岩瀬 三郎	宇佐美睦朗	内岡 貞雄
梅野 ゆか	呉 世 憲	大岡 勝義	大隅 督子	岡崎 絹江	河合 喜代
姜 泰 玉	木村 和彦	國吉 幸子	鋤野 保雄	紺谷 知也	斉藤美代子
坂本 龍雄	佐々木洋子	佐藤セツ子	鈴木 忠実	澄田亀三郎	高根 孝昭
田中 正美	崔 玉 任	塚田 勲	中里 仁一	西浦 昭英	平岡 恵子
福田富美子	藤井 舒夫	藤谷 光信	松岡 節子	三宅 冬樹	
アジア共同行動山口		韓国仏教宗団協議会		在日大韓基督教会小倉教会	
在日本朝鮮人総連合会山口県本部		在日本大韓国民団山口県宇部支部		在日本大韓国民団山口県地方本部	
筑後地区人権・同和対策推進協議会		日本基督教団長門教会		日本基督教団下関教会	
無窮花堂友好親善の会		(その他匿名4名)			

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	2,013,756		追加工事費	35,640	説明板設置
繰入金	0		繰越金	1,978,116	
合計	2,013,756		合計	2,013,756	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	2,000,000		調査費	972,000	坑口
繰入金	0		繰越金	1,028,000	
合計	2,000,000		合計	2,000,000	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

事務局長 小畑太作

【会員動静】

新規会員登録：正会員3名、賛助会員5名。
累計：正会員82名、賛助会員183名、合計265名。

【委員会開催】

- ①第7回 12月10日(木) 欠席4名
- ②第8回 1月8日(金) 欠席1名
- ③第9回 2月5日(金) 欠席1名

【人事】

木岡靖司委員が関東地方に転居のため辞任。代わって正会員より藤本一規さんを運営委員に選任した。

【学習会・フィールドワーク受け入れ】

- ①福岡県大川市福祉事務所 2月15日(月)
- ②春の学習会の実施を計画 4月23日(土)。
- チラシ作成。宇部市教委・地元新聞社への名義後援申請。

【遺骨等収集】

- ①坑口・坑道調査 報告会12月4日(金)。事業者より今後のプラン案提示を受けるが、公共性確保が必要のため政府交渉を優先して進める。
- ②政府交渉のために、引き続き元国会議員を通して地元選出国会議員から厚労省及び地元自治体との交渉経路の構築を継続。

- ③DNA鑑定実施に向けて、犠牲者と遺族のデータベースを作成中。現時点で、採取した検体についての情報を管理する。遺族会総会が2016年7月2日(土)大邱特別市にて開催決定、検体採取を実施予定。

【74周年追悼集会】

【宇部市長との協議】

- ①内容について検討。詳細は別途報告にて。
- ②情宣活動と韓国仏教宗団協議会との調整連絡。
- ③宇部市役所に名義後援申請。結果は拒否。

第29回協議会を1月7日(木)に宇部市福祉会館にて開催。宇部市役所4名、当方7名の参加。

宇部市石炭記念館の新たな大年表に長生炭鉱の犠牲者を「殉職者」と表現した問題について、既に抗議・修正を文書にて要請していたが、「犠牲者」への修正が決定、作業完了。

追悼集会への職員派遣以外の協力を要請するも得られず。職員派遣と名義後援拒否の矛盾について追及するが、市役所側は、前者は「犠牲者への哀悼の意を表している」が後者は「市行政の推進、普及、啓蒙等に寄与すると認められ」ないという矛盾の回答で聞き直りを継続中。

2005年に、国政府からの「朝鮮半島出身の旧民間徴用者に関する遺骨調査」に対して、宇部市役所が情報「無」と回答していた件は継続中。その他、この間、市町村への調査に加えて山口県庁が行った民間への情報提供依頼の内容が判明。しかし提供された情報の内、長生炭鉱については新たなものはなく、調査要綱に基づき厚労省への報告は省略されていた。

ピーヤの保存は、市教委よりの史跡登録申請の提示を受け2月18日(木)に申請書(調書)を提出。続いて2月24日(水)に市教委と懇談するも対応の職員の言動と、この直後にピーヤ説明板の説明文の問題ならびに不設置についての教育委員会会議への報告を急ぎきたことへの当会からの指摘に対する聞き直りの回答があり、これらに鑑みて、この度の申請も報告されないことを懸念し、市教委委員長に2月

28日(日)付で申請の通知を含めて史跡登録に向けた要望書を提出。

長生海岸への消波ブロック設置が進められるとの情報があり確認したところ、①当初予定していた消波ブロック設置工事は、予算の都合上、予定通り進んでいないが設置はする、②しかし優先順位は、床波漁港の東側が次になっており長生海岸はその次。

③但し長生海岸については防波壁の低くなっている部分(ピーヤの部分もそう)のかさ上げ工事は次年度着工予定、と言ったことが判明。次回委員会にて対応を検討予定。

第30回協議会は5月頃開催の予定。

【関係資料収集】

紙媒体の資料はPDF化しweb上で共有、VHSテープはDVDにダビングすることにし中古ダビングデッキを購入。いずれも作業継続中。ご自宅でダビングが出来る方はご協力下さい。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

①県庁前抗議行動と座談会に引き続き参加。チラシ作成などを進行。

- ②宇部市 市長・議長・教育長・教育委員長に12月13日(日)付で改めて要望書提出。1月15日(金)付で市長・教育庁よりの回答があるも、人権問題の無理解が改めて開示された。更なる説明を検討したい。
- ③宇部市役所に助成に指定して寄付をしたところ職員によって却下。根拠は明示されず。市議会議員に調査と対応を依頼中。

【韓国「対日抗争期強制動員被害調査及国外強制動員犠牲者等支援委員会」による報告書】

12月に発刊され、当会に300冊の寄贈。取扱を検討。案内をご参照下さい。

2月19日(金)から21日(日)にかけて、防府市「アスピラート」で切手まつりが開催された。昨年に引き続き「刻む会」もパネル展示をさせていただいた。

小さな子供たちやお母さん、年配の方々が次々と切手を持参してくれ、昨年より広がりが多いように思われた。使用済み切手が東南アジアの子供達の医療や教育に貢献できることは素晴らしいことで、特に子供達にとっては、他国の子供達へのやさしさや想像力が育まれると思う。

長生の悲劇についても小学生の親子の皆さんにお話しする機会をいただき、遺骨を放置したままでは「戦争はまだ終わっていない」と、理解と協力をお願いした。

このゆるい感じの楽しい企画が、これからも気負わずに、人にやさしさを届けられたらと思う。



第3回定期総会を開催します！

日時：2016年5月21日(土)

13:30～14:30 定期総会

15:00～16:00 「隠された爪痕」上映会

※「隠された爪痕」… 関東大震災朝鮮人虐殺記録映画
・1983年作 監督呉充功(オウ・チュンゴン)

**今回は、総会に引き続き、映画上映会を開催します。
多くの方々をお誘いの上、ぜひ、ご参加ください！**

長生炭鉱犠牲者追悼碑建立委員会の委員長であった小川信さんが2016年1月8日に亡くなられました。

小川さんは衆議院議員在任中に国会で長生炭鉱の問題を質問するなど、多大なる功績を残されています。

心からご冥福をお祈りします。



春のフィールドワーク開催！

是非ご参加ください！

詳しくは

同封のチラシをご覧ください！



맛있어요
마시ッヨ!

お知らせ

【同封物】

- ★山口武信追悼文集
- ★春のフィールドワーク チラシ
- ★振込用紙
- ★戦争法の廃止を求める2000万人統一署名

【今後の活動予定】

- ★第11回運営委員会 4月14日(木) 10:00～16:00 宇部緑橋教会
- ★春のフィールドワーク 4月23日(土) 10:30 追悼ひろば集合
- ★第3回定期総会 5月21日(土) 宇部緑橋教会
13:30～14:30 総会
15:00～16:00 「隠された爪痕」上映会